

特許申請中

一般財団法人日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第20－26号

つぎ まる

継丸工法

沈下修復工事に用いる鋼管圧入工法の無溶接継手



溶接不要！
独自のほぞ結合

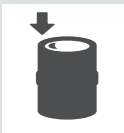
継丸はジャッキで圧入するだけで接合できる
簡単に作業効率の高い安全な継手です。

 継手による
許容応力度の低減なし

 溶接者の必要なし

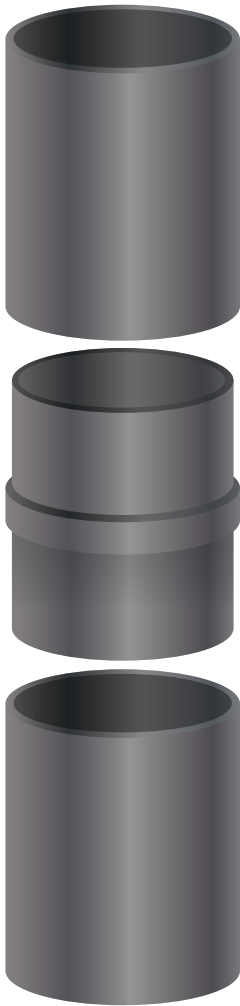
 火災、爆発の
リスクなし

 施工時間の短縮

 施工時における
偏心圧縮力にも対応

 作業者の
健康障害予防

溶接ヒュームが、作業者にとって神経障害などの健康障害をおよぼされるとして、特定化学物質として規制



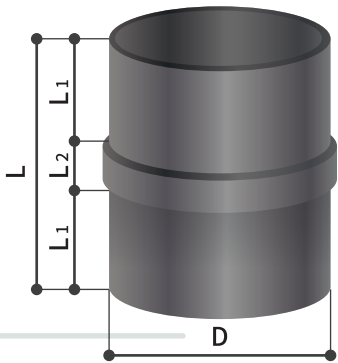
適用範囲

- (1) アンダーピニング工法に限定する。
- (2) 下記の①～③の条件をすべて満足する建築物
 - ①地上 3 階以下、 ②高さ 13m 以下、
 - ③延べ面積 1,500 m²以下（平屋に限り 3,000 m²以下）以下の小規模な工作物等
高さ 5m 以下の擁壁、機械基礎、設備基礎
- (3) 継丸継手を有する補強材（鋼管）の施工は、圧入によることとする。

沈下修復工事に用いる鋼管圧入工法の無溶接継手 継丸工法

用途に応じて
 $L_1=0.5D$ タイプ、 $L_1=0.75D$ タイプの
2 種類を用意

適用鋼管の外径寸法
 $D: 89.1\text{mm}$ 、 101.6mm 、 114.3mm 、
 139.8mm 、 165.2mm の幅広いラインナップ



各試験を行い、継丸の **性能・安全性** を確認しています

単体性能の確認

以下の試験を行い 継丸（単体）の性能を確かめています

圧縮耐力の試験 曲げ試験
曲げせん断試験 偏心圧縮試験



曲げ試験

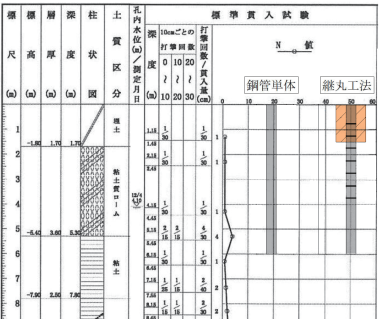


偏心圧縮試験

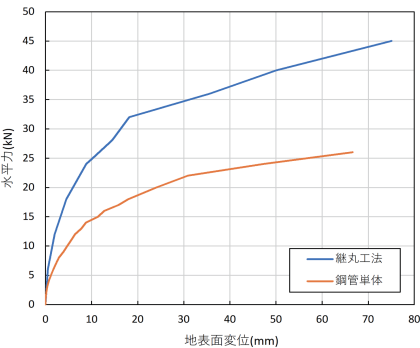
施工後の安全性の確認

継丸を用いた施工後、
水平載荷試験を行い安全性の確認を行いました

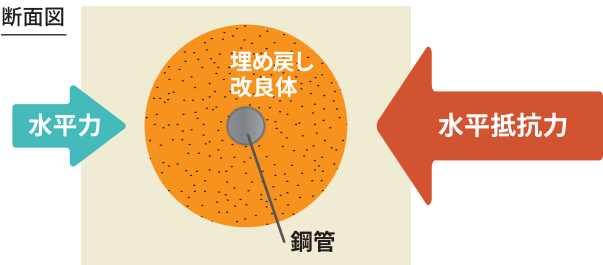
試験体の設置深度



水平力と
地表面変位の比較



継丸を用いた鋼管と埋め戻し改良体が
一体となって水平変位を抑えることができます



一般社団法人 **先端地盤技術グループ**

〒252-0312 神奈川県相模原市南区相南4-23-15

TEL : 042-701-0902 FAX : 042-701-0912

E-mail : info@sentanjiban.or.jp